

石巻感染症情報



2025年感染症発生動向調査より 第9週（2025年2月24日～2025年3月2日）
宮城県石巻保健所 疾病対策班 電話:0225-95-1430 発行日: 2025年3月 日

* 石巻保健所の感染症発生状況 *

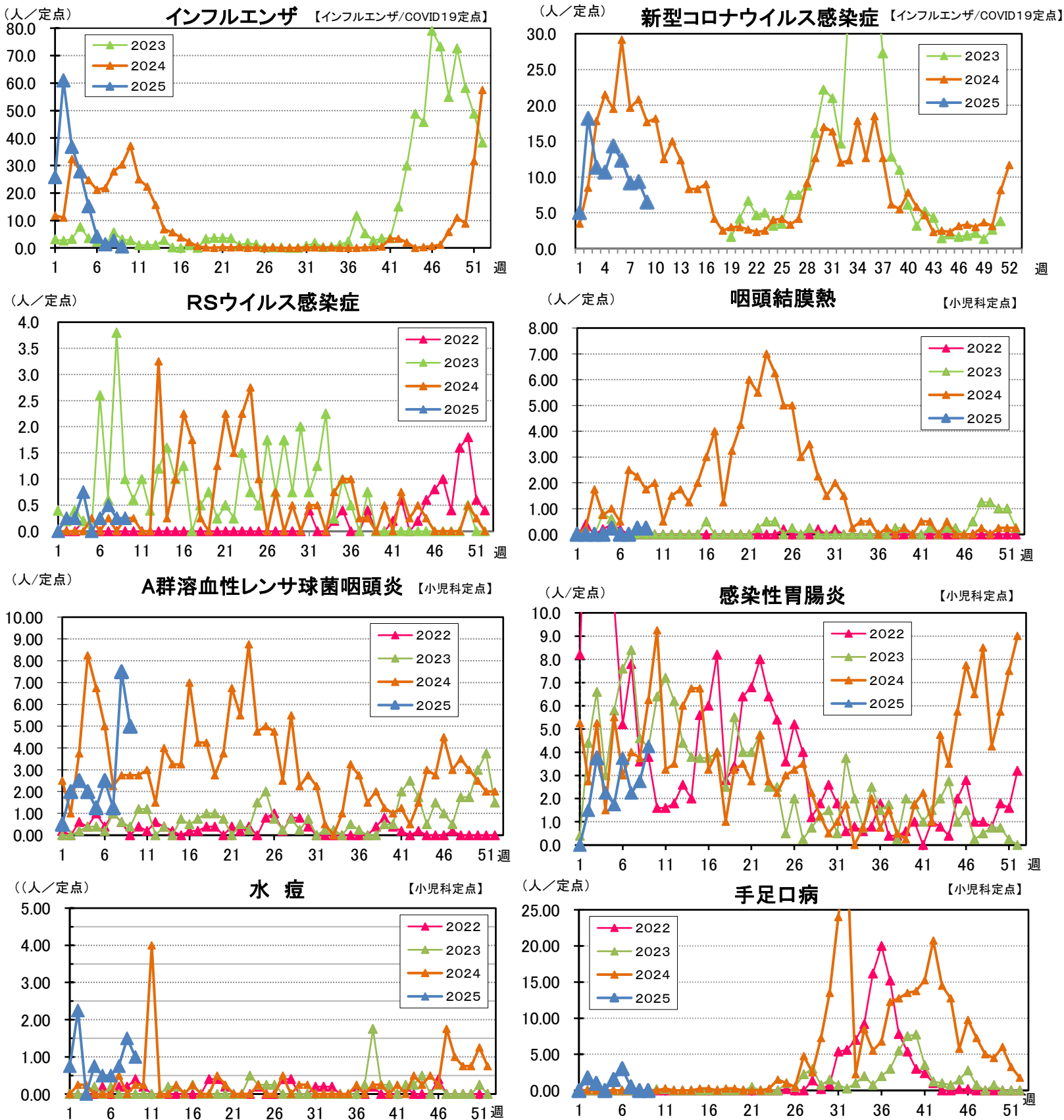
【全数報告疾患報告数】

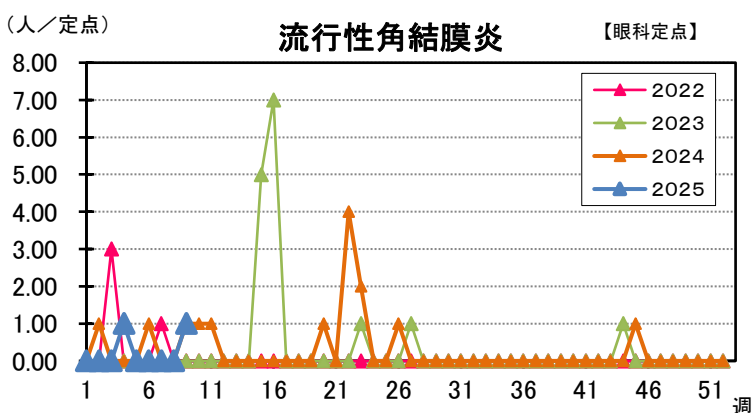
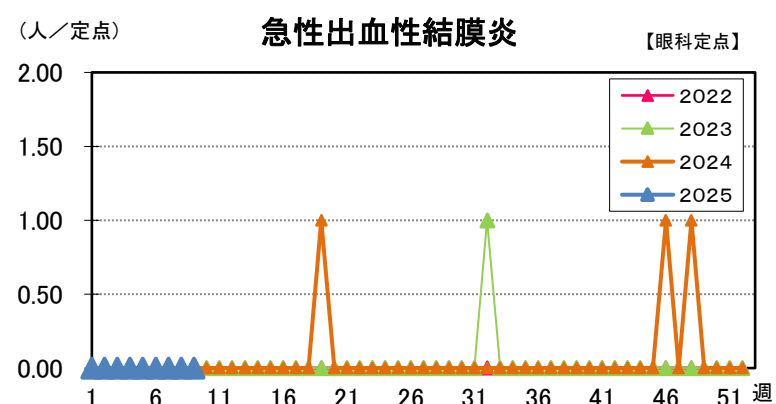
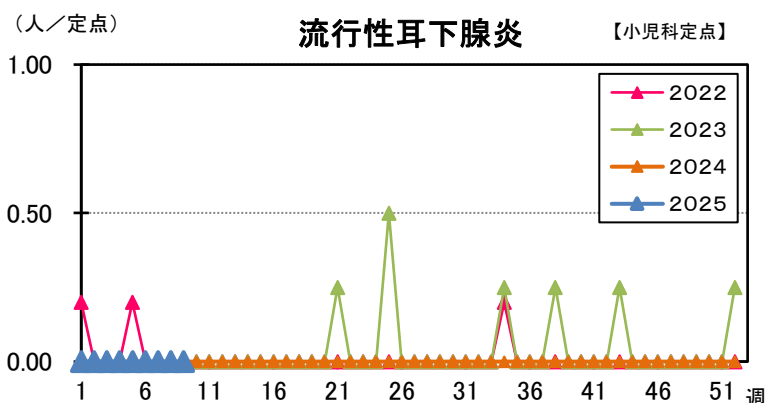
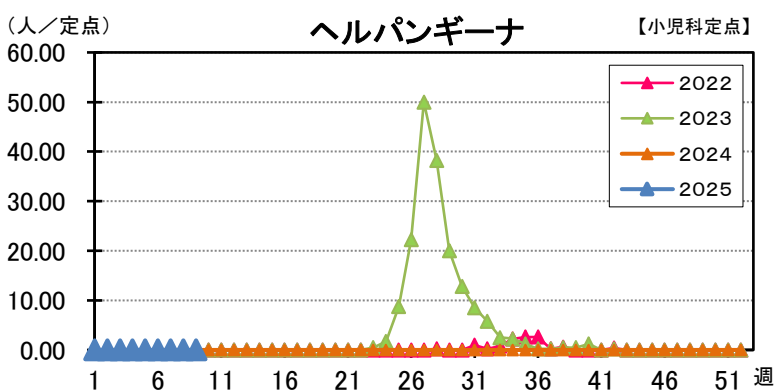
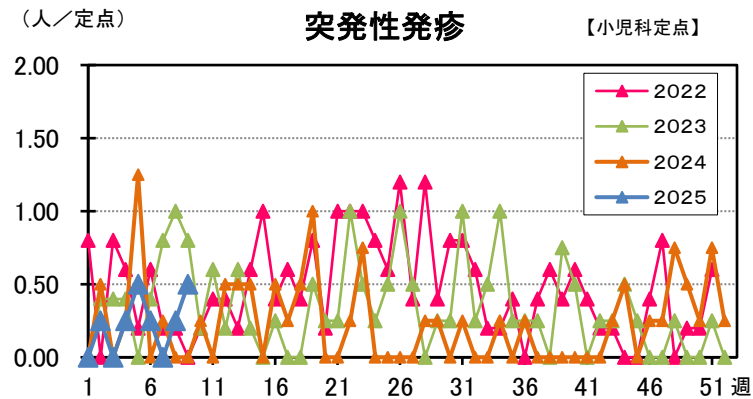
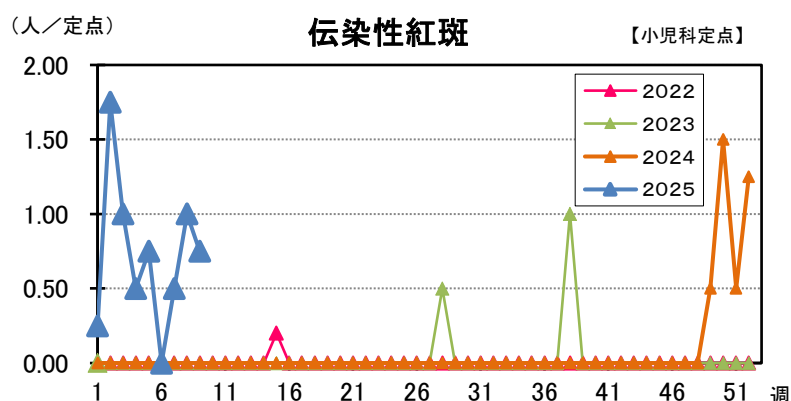
- ・1類感染症: 報告なし
- ・2類感染症: 報告なし
- ・3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症
- ・4類感染症: 報告なし
- ・5類感染症: 報告なし
- ・新型インフルエンザ等感染症: 報告なし

【警報・注意報・終息について】

水痘: 終息

* 石巻保健所感染症サーベイランス * 直近4年分の管内1定点医療機関当たりの報告人数





* 今週の感染症トピックス 【石巻保健所からのコメント】

【麻しん(はしか)】

2月28日に仙台市にてベトナムから帰国の10歳未満の女性が感染判明しました。仙台市内での感染確認は6年ぶりとなります。現時点で石巻圏域での麻しんの発生報告はありません。

県外では、ベトナム・タイ・フィリピン等の渡航歴のある方からの感染報告が続いています。海外での感染や感染者からの二次感染に注意が必要です。感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が2～4日続いた後、39℃以上の高熱と発疹が現れます。

麻しんは感染力が非常に強く、予防接種を受けていないなど麻しんに対する免疫が不十分な方は感染する可能性があります。

《予防方法》

麻しんはワクチン接種が有効です。麻しん風しん混合(MR)ワクチンは予防接種法で定期予防接種の対象とされています。対象となる方は、接種期間に予防接種を受けましょう。罹患歴や接種歴が不明な方、1回のみ接種の方は免疫が不十分な可能性もありますので、医療機関へご相談の上、ワクチン接種を検討ください。

【感染性胃腸炎】

全国的にも感染性胃腸炎が流行していますが、石巻圏域でも感染性胃腸炎の報告数が増えてきています。感染性胃腸炎はノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなどを原因とする胃腸炎の総称です。

感染すると、1～3日で吐き気、嘔吐、下痢、腹痛などの症状が現れます。子どもや高齢者などが感染すると重症化することもあるため注意が必要です。

感染経路は、『経口感染』『接触感染』『飛沫感染』と様々です。

予防するには、『食品は十分に洗い、二枚貝を調理する場合は中心部までよく加熱する』『手洗いの徹底、バスタオルや手拭きタオルの共有をしない』『マスクの着用や咳エチケット』が効果的です。

また、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑(りんご病)患者数も例年より多く報告されています。基本的な感染対策を行いましょう。

宮城県(全域)、全国の発生動向につきましては、下記のホームページで御覧になれます。

宮城県⇒宮城県結核・感染症情報センター <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

全国⇒厚生労働省／国立感染症研究所感染症情報センター <https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

